

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 12月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		~ 2024年 12月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	完全個別のマンツーマン支援を展開することで、より近くでお子さんたちと関わることが出来る	1人のお子さんに対して複数のスタッフが様々な観点から支援を実施する事で、お子さんの長所を伸ばせるようにしている。また、教材はその子に合わせたものを使用したいため、指導員が手作りで作成している	Instagramやブログを通して本校の魅力や特徴などを発信していく
2	バランスボードやトランポリンを使用した粗大運動を適宜取り入れ、体幹を鍛えるための支援を実施できる	見通しをもつことが難しいお子さんが多いので、イラストを用いて行動の順番を提示している。また、ルールの理解にも繋がられるようにしている	スタッフ同士の情報共有の機会を更に増やし、より良い支援が提供できるように準備していく
3	デイサービスの経験が長く安定したパフォーマンスを発揮する事が出来ている。また、有資格者を配置しているため、専門的な支援を実施できる	静と動の活動を適宜組み合わせる事で集中力を保てるようにしている	他校舎との繋がりをもち、悩みや不安などの共有を行い、事例解決に繋がると共に、自信をもって支援を提供できるようにする

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別での活動がメインになってくるため、他児との関りが少ない	保護者からの要望が少なく、個別で支援してほしいという声が多い。	個別での支援も大切であることを伝えながら、学習以外での困りごとについても丁寧に聞き取り、力になれることを一緒に考えていく
2	事業所が小さいので、サーキット運動やイベントの際に手狭感がある	デスクの配置や構造上の問題を把握し、適切な環境整備をしていく必要がある	物の整理整頓や収納に必要な棚を購入し、見た目にも綺麗に保てるようにしていく
3	校舎近くにバス停はあるが、JRの駅や地下鉄からは遠いので通所には自家用車が徒歩になってしまうケースがある	送迎を行っていないので、保護者に送迎のご協力をいただいている	支援時間の変更や曜日の変更には柔軟に対応し、時間に余裕が持てるようにしていきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

4

回収数

4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1	0	0		限られたスペースになりますが、環境整備に努め安全に支援が行えるようにします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	0		ご利用時には適切なスタッフを配置し安全面には十分考慮します。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	2		トイレなどバリアフリー化されていない箇所もありますが、段差などは設けないようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	1	0	1		療育に使用するものを収納するスペースが十分ではないので、整理整頓を心掛けます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	0	0	0	担当スタッフが決まっていないので、子どもの理解にバラつきがあるように感じる。	指導員の固定化はしていませんが、支援に入る前には必ずスタッフ間で情報共有しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	0		これからも、皆さんに安心していただけるようなプログラムを作成します。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	0	0	1		計画作成前には、保護者様と十分に情報共有を行い、皆さまのニーズに応えられるようにします。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	0		ガイドラインに沿った5領域を目標に含んでいますが、ご要望があれば柔軟に対応できるようにします。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		計画に沿って支援を展開していますが、臨機応変な対応も承っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	0	0	1		良かったと感じたプログラムを全員で共有し、マンネリ化しないようにしています。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	0	1	2	1		現状、そのような機会は設けていませんが、ご要望があれば検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		ご契約の際にお話させていただいていますが、ご不明なことがあればいつでもお声掛けください。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		支援計画の更新の際には丁寧に説明させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	0	0		現状ではペアレントトレーニングを実施できるスタッフが常駐していませんが、機を見て受講したいと考えています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4	0	0	0		フィードバック以外にも気になることがあれば、いつでもお声掛けください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1	0	0	傾聴後にアドバイスをもらって、今後の子どもの関わり方の参考になった。	フィードバック以外にも気になることがあれば、いつでもお声掛けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		保護者様からのご意見に真摯に向き合いより質の高い支援が提供できるようにします。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	3	1		現状、そのような機会は設けていませんが、ご要望があれば検討いたします。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	2		サポート体制は十分に整えていますが、より皆さんにわかりやすく提示させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0	Lineでやり取りできるのがありがたいです。	Lineを取り入れた事で円滑な情報共有が可能になりましたが、引き続きよろしくお願いたします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	0	0		本校の情報を発信した際には保護者様にも周知していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0	1	0		鍵付きのロッカーに保管していますが、より注意いたします。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0	0	1		全社で共通のマニュアルがあるもので、保護者様への周知の仕方も工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	2		定期的に避難訓練を実施していますが、訓練内容について周知させていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	1		安全計画を基にした訓練を実施し、安全に校舎運営が出来る様に心掛けています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	2		事業所内ケガをしてしまった事例はありませんが、有事の際には迅速に行動を起こせるよう準備しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4	0	0	0		今後も丁寧な支援を心掛け、より安心していただけるようにします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1	0	0	利用日以外も楽しみにしている言動や「好き」と言っています。	お子さんたちにとっても魅力的な支援を展開する事で楽しみながら活動が出来るようになります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		皆さまからのお声に耳を傾け、より良い事業所運営が出来る様にします。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校	公表日	2025年 2月 15日
------	-----------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	4	2	マンツーマンでの支援を基本としているため、1人につき1つの個室で支援しています。	小集団での活動を行う際のスペースを作ることが必要と感じています。
	2	6		複数のスタッフがお子さんを担当することで様々な視点から支援を展開する事が出来ています。	常に正しい人員で運営を行っていくことに注視していきます。
	3	5	1	施設内には段差を設けないことを意識しています。また、各部屋はロールカーテンで仕切られており閉鎖間を出さないようにしています。	事業所は2階で階段がありますので、雨が降ったあとや雪の日には滑りやすくなっているため、改善したいと思います。
	4	4	2	毎日掃除を徹底し清潔に保っています。また、1支援毎に部屋の机をアルコール消毒しています。	療育に用いる玩具が増えてきており、保管場所を設ける必要があると感じています。
	5	6		基本的に個室を使用して支援を実施していますが、粗大運動を行う場合は他のスタッフと時間の調整をしています	個室にはなっていますが吹き抜けになっているため、配慮が必要な児童がいた際の手段を検討します。
業務改善	6	6		共有のアプリを用いて情報共有を図っています。また、お互いに声を掛け合いPDCAサイクルを回しています	定期的に運営会議を実施していますが、もう少し開催の日程を増やしていきたいと思えます。
	7	5	1	毎年、保護者様にお願いしてアンケートを集計しており、いただいたお声を大切にしながら運営しています。	新入社員にも情報共有を行い、中途入社であっても状況がわかるようにしていきたいと思えます。
	8	6		日々のコミュニケーションの中で密に連携を取り、様々な視点から業務改善を図れるようにしています。	定期的に運営会議を実施していますが、もう少し開催の日程を増やしていきたいと考えています。
	9		6	自社で内部監査を実施し、業務改善に繋がっています。	外部評価は受けていませんが、内部監査や事業所評価などを実施する事で適正な運営に努めています。
	10	6		「発達支援研究所」と連携する事で有意義な研修を受けることが出来ています。また、スタッフの経験年数に合わせた研修も実施しています	外部の講師を呼んでの研修が少ない為、スタッフの声を拾いながら実践していきたいと考えています。
適切な支援の提	11	6		大枠はチームで作成し、その後は事業所内で適切な支援プログラムを作成しています。	プログラムの作成に関わるスタッフが少なく、浸透までに時間が掛かってしまうことが懸念されますので、しっかり確認を行っていきます。
	12	6		フィードバックの際にお困り事やお悩み事を聞き取り、支援計画の作成に活かしています。	アセスメントから計画作成までにタイムラグがある為、その間に目標を達成していることがあります。
	13	6		計画作成の前に担当者会議を実施する事で全員が計画の内容を確認し、意見交換を行うようにしています。	半年のPDCAサイクルを振り返り、適切な支援計画を作成できるようにしていきたいと思えます。
	14	6		計画作成の前に担当者会議を実施する事で全員が計画の内容を確認し、意見交換を行うようにしています。	計画に沿った支援を展開していますが、状況に応じて臨機応変な対応が取れるようにしていきたいと思えます。
	15	5	1	全社で共通のアセスメントシートを使用している事で、認識を深めています。	日々の聞き取りでアセスメントを活用していますが、インフォーマルなツールは整備が必要と感じています。
	16	5	1	ガイドラインに沿った計画を作成し、支援の狙いや内容についても具体的に記載しており、保護者様にも丁寧に説明しています。	相談支援事業所を利用しているご家庭が少なく、地域との連携が希薄になってしまうことがあります。
	17	4	2	担当制を用いないことでスタッフ間で情報共有を行い、適切なプログラムの作成に心掛けています。	個別に支援を実施している為、これまで以上に情報共有を密に行っていきます。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		担当制を用いない事で様々なアプローチ方法を取り入れる事が出来ています。	お子さん1人ずつに合わせたプリント作成を行っている為、スタッフに負担が掛からないようにしたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	3	基本的には個別支援を行っていますが、季節のイベントや小集団での活動も適宜実施しています。	個別支援のご要望を多くいただいています。が、集団での支援の中で見えてくる課題があることを発信していきたいと思っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝礼や日常のコミュニケーションの中で密に連携を取っており、役割についても共有しています。	最後の時間に支援が入っており、翌日の朝に支援が入っている際は、事前に時間を設けて引継ぎを行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	すぐに引継ぎが出来ない際はアプリを用いて情報共有をすることで、支援の振り返りが出来る様にしています。	アプリを用いての情報共有は口頭では難しい場合に限りとしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		3営業日以内に記録を残すことを徹底し、新しい情報が更新されるように心掛けています。	必要に応じて口頭で確認し、タイムリーな情報共有に努めます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		モニタリングや支援計画の更新時期を表にまとめておくことで、適宜見直しを行えるようにしています。	今後も適切な支援計画の作成をしていきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	基本的に児童発達支援管理責任者が参加していますが、タイミングが合えば別スタッフも参加できるように調整しています。	まだ参加したことがないスタッフもいるので、機会を見て参加できるようにしていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保護者様からのご要望を基に関係機関とは積極的に連携する様に心掛けています。	本校が手の空いている時間と関係機関の手の空く時間が真逆になっているので、メール等での対応も検討したいと思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	小学校への進学にあたり、集団生活の中で困難さを軽減できるような支援を心掛けています。	個人情報保護の観点から、こちらからアクションを起こすことは難しいため、保護者様には積極的にお声掛けしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	本校での支援の記録を残してあるため、保護者様からご要望があった際には迅速に対応できる準備が整っています。	個人情報保護の観点から、こちらからアクションを起こすことは難しいため、保護者様には積極的にお声掛けしていきたいと思っています。
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6	周知活動の一環で保健センターに伺い、求められる支援やお子さんたちの状況についてアドバイスをいただいています。	機会としては多くなく、情報が不足している部分もあると感じる為、適宜取り組んでいきたいと思っています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	保護者様からのご要望がないため実施していません。	保護者様からご要望があれば実施できるように準備していきたいと思っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		フィードバックの際にご自宅での状況についても聞き取りを行い、保護者様と課題の共有が出来るようにしています。	今後も継続的に保護者様との情報共有を大切にしていきたいと思っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	保護者様には支援の様子を見学していただくことを打診し、日常生活に活かしていただけるようにしています。	ペアレントトレーニングを実施できるスタッフが常駐していないので、機を見て受講できるようにしていきたいと思っています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時には書面を見ながら丁寧に説明し、不明点がでないように留意しています。	加算の算定においては回数や適応条件などが異なる場合があるので、適宜説明していきたいと思っています。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		支援計画の作成にあたっては、保護者様からしっかりアセスメントを伺い、最善の支援が出来る様にしています。	支援計画に基づいた支援を提供していますが、状況に応じて臨機応変な対応が出来るようにします。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		保護者様には直接お話をさせていただき時間を設けていただいております。適宜説明しています。	保護者様の送迎がない方に関してはお手紙にて通達していますが、電話なども交えてより詳しく説明できるようにしていきます。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		フィードバックの際にお話を伺うことに加え、Lineでも聞き取りを行えるようにしています。	保護者様からご要望があれば、適宜対応できるように準備してまいります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		保護者様からのご要望がないため実施していません。	保護者様からご要望があれば企画していきたいと思っております。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			利用者様や保護者様から相談等の申し入れがあった際には、迅速に対応できるように準備を整えています。	LineやInstagram等を整備し、よりお気軽に相談していただける環境を整えています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			HPやInstagramを活用して、本校の活動内容を魅力的にお伝えできるようにしています。	随時更新していますが、認知度が低いためあまり知られていません。保護者様にもしっかり周知していきたいと思っております。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			個人情報が含まれる書面やデータについては鍵付きのロッカーに保管しています。	今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			口頭でのやり取りで理解に及ばない事があった際にはイラストにしたり、分かりやすい視覚物を提示したりという工夫をしています。	フィードバック以外にもLineやお手紙を通して情報伝達の方法を模索していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		保護者様からご要望がないため実施していません。	保護者様からご要望があれば実施に向けて準備してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			各種マニュアルを準備し、適宜利用者様も含めた訓練も実施しています。また、近隣のハザードマップや避難場所についても校舎内に掲示しています。	全ての利用者様が訓練に参加出来ている訳ではないため、内容についてしっかり周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			本部で主催している研修に参加している他、事業所内でも計画書の作成と訓練を実施しています。	今年度より義務化になった項目となっているため、より広くスタッフに周知し訓練等を計画的に実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			初回契約の際に情報を聞き取り事に加え、イベント実施の際にはアレルギーについての再確認をしています。	てんかんの持病を持った利用者様がいため、改めて対応方法について確認します。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		基本的に食事を提供する機会はありませんが、イベント実施の際にはアレルギー等の確認をしています。	イベント実施の際は、これまで同様、細心の注意をはらって実施してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			計画書を作成すると共に本部が主催の研修に参加し、事業所内で訓練も実施しています。	今年度より義務化になった項目となっているため、より広くスタッフに周知し訓練等を計画的に実施してまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		支援計画の更新や重要事項説明書の更新に合わせて適宜、説明を行っています	安全確保に向けた取り組みについては、こまめに更新し保護者様へ伝達できるようにします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		事業所内で危ないと感じる場面があった際にはその場で口頭確認を行い、利用者様にもわかりやすく説明する様にしています。	書面にまとめる機会が少なかった為、再発防止・事故防止の観点からしっかり書面でも残せるようにします。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			身体拘束・虐待防止委員会を設置し、研修を行う事で適切な対応方法について周知しています。	今年度より義務化になった項目となっているため、より広くスタッフに周知し訓練等を計画的に実施してまいります。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			身体拘束・虐待防止委員会を設置し、研修を行う事で適切な対応方法について周知しています。	今年度より義務化になった項目となっているため、より広くスタッフに周知し訓練等を計画的に実施してまいります。	